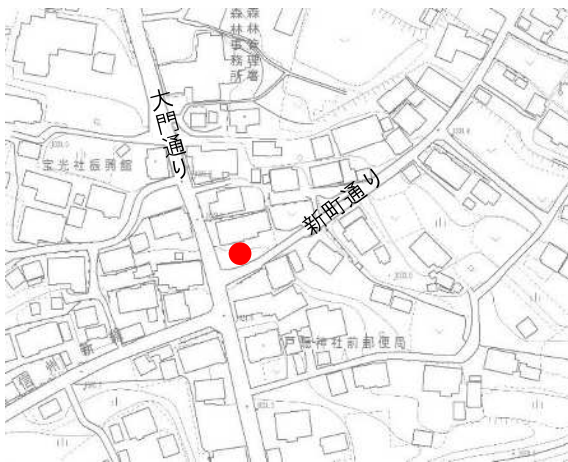


## 1-1 保存地区案内板整備について（令和8年度直接事業）

### 事業概要

- (1) 設置数 2基 → 1基（中社地区、宝光社地区に1基ずつ）  
 ※中社地区については令和8年度中に設置場所が決まる見込みがないため、  
 令和8年度設置は宝光社地区のみとし、中社地区は令和9年度以降設置とする。
- (2) 設置予定場所 中社地区：夫門通りと中道の辻（旧中社学習館前） → 未定  
 宝光社地区：大門通りと新町通りの辻（よつかど）
- (3) 意匠等 設置場所の履歴を考慮し、意匠は市内に現存する高札場を参考とする。
- (4) その他 設置場所及び意匠は、地元協議会や保存審議会との協議により変更となる可能性あり

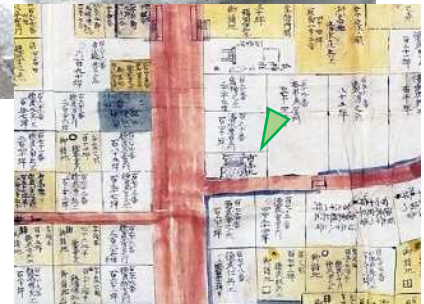
### ○ 宝光社地区



設置予定位置図



現況



「戸隠村地割図」（明治初期）

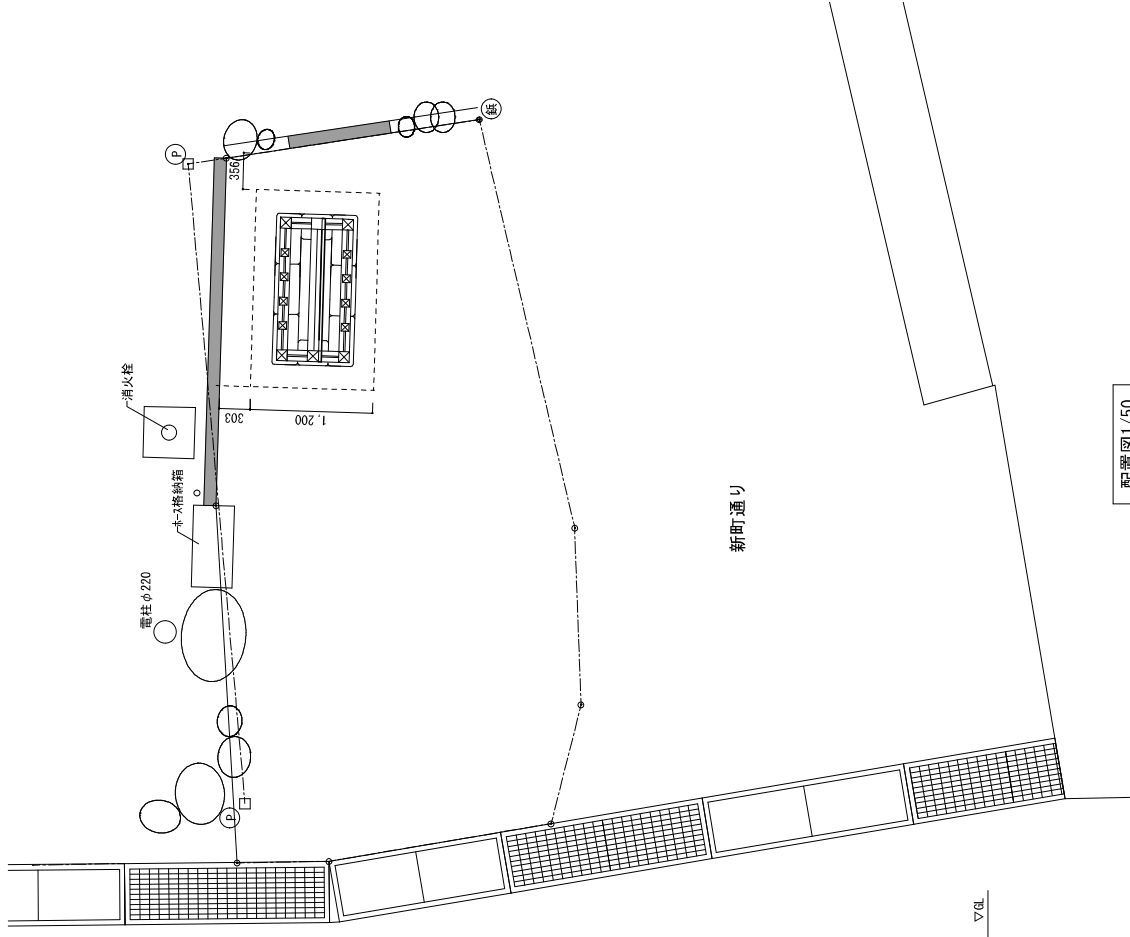
### 3 参考事例（市内の高札場事例）

#### ○ 芋井地区 上ヶ屋平区の高札場

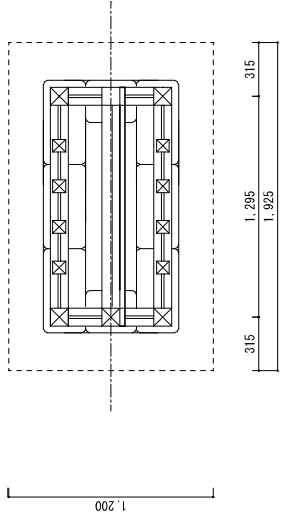


#### ○ 篠ノ井地区 有旅の高札場

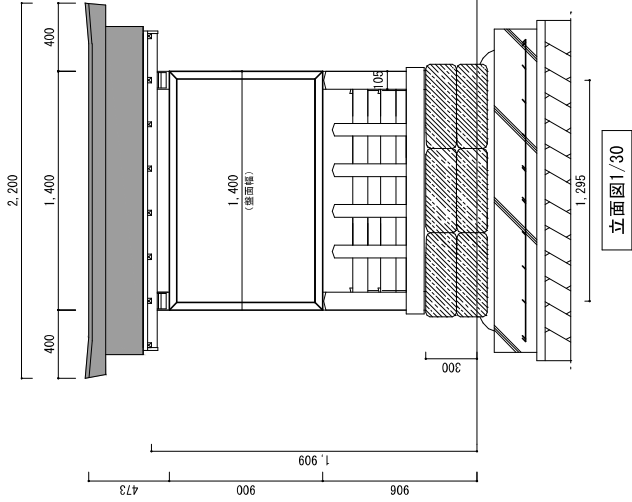




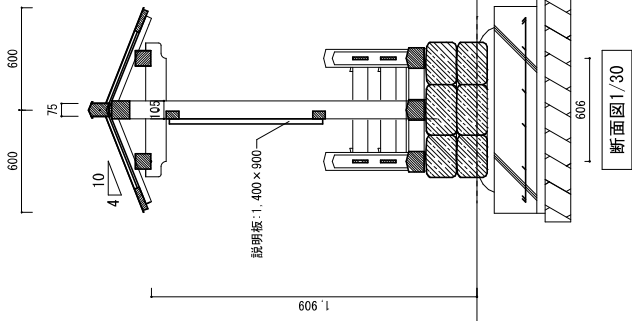
配置図1/50



平面図1/30



立面図1/30



断面図1/30



国選定 重要伝統的建造物群保存地区

# 長野市戸隠伝統的建造物群保存地区

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区は、山岳修験と深く結びついた戸隠信仰を背景として標高一、〇〇mを超える高地に成立、発展した信仰集落で、江戸時代以来の地割を良く残しており、戸隠神社中社及び同宝光社それぞれの社殿を基点とする参道沿いに大規模な宿坊が屋敷を構え、その外縁に農家、商家等からなる門前町が振がる。

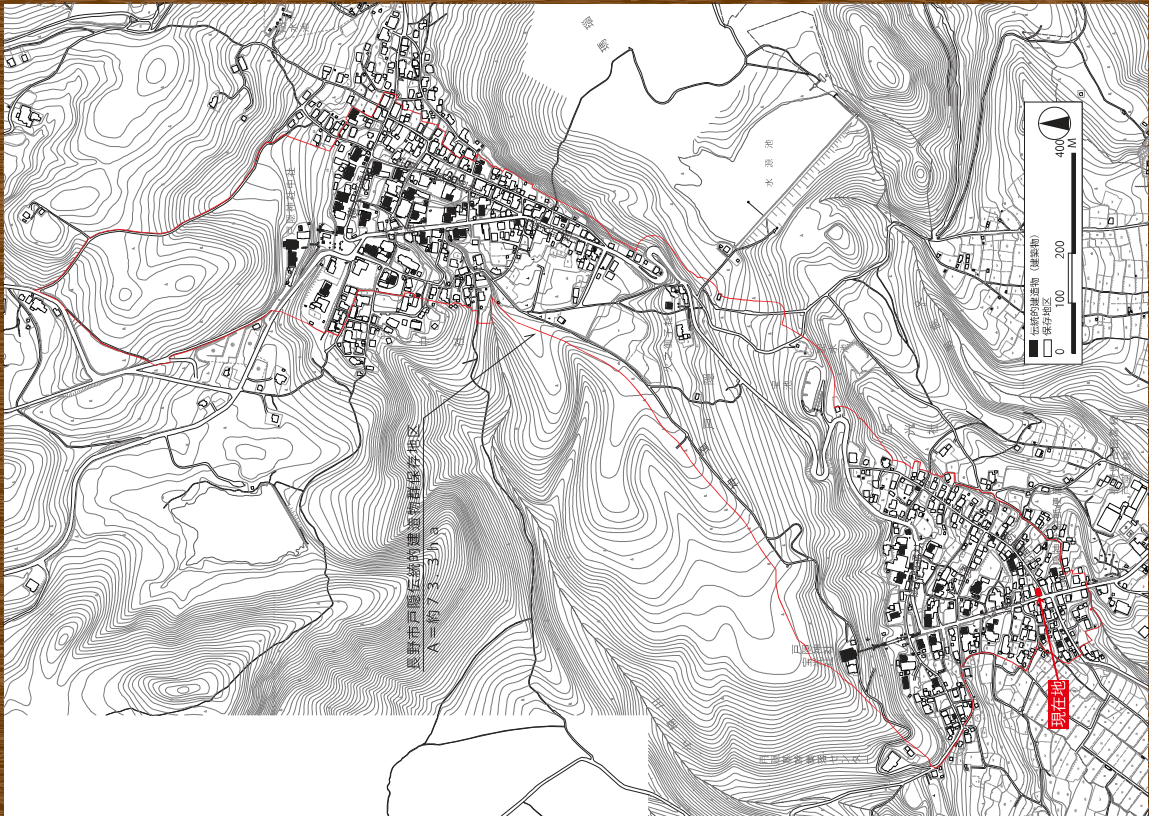
保存地区内には江戸時代中期から昭和までに建築されたせがいで造り特徴とする茅葺屋根の伝統的建造物が多く残されており、戸隠神社社殿や石塔、石燈籠、神木等の工作物、環境物件とともに歴史ある信仰集落としての町並みを良く伝えている。

種別：宿坊群、門前町

選定年月日：平成二十九年二月二十三日



宝光社大門通りの町並み（左：現在 右：昭和期）



伝統的建造物群保存地区 範囲図